

くろかわ訪問看護ステーションです。



施設概要



リハビリ後の風景。
終わるまでハッピーちゃんが待っててくれます

◎私たちの施設の特徴◎

- ・当ステーションは、公立黒川病院内1階の一角にあります。
- ・看護師7名で主に黒川郡、富谷市に訪問しています。連携医療機関や居宅介護支援事業所は17～18か所と利用者が困らないよう取り組んでいます。
- ・小児から高齢者まで（現在0歳～106歳まで訪問中）、必要な医療的処置やリハビリ、在宅看取り等を行っています。
- ・治りにくい褥瘡、皮膚トラブルが強いストーマ使用者に対しては、当院の皮膚排泄ケア認定看護師と連携し対応しています。
- ・病院主催の「黒川連携の会」を定期的に開催し、顔の見える関係作りを目指し、訪問看護の立場からもプレゼンテーションをしています。
- ・小児や交通外傷など医療保険でのリハビリが必要な方は、専門のリハビリスタッフが当ステーションから訪問します（介護保険該当の方は、黒川病院の訪問リハビリが対応しています）
- ・在宅で療養されている方が安心して過ごせるよう24時間365日サポートしています。

＜リハビリテーションに関する連絡先＞

くろかわ訪問看護ステーション

住所：〒981-3302 黒川郡大和町吉岡字西松木60（公立黒川病院内）

電話：022-348-0565 / ファクシミリ：022-348-0566

黒川
地区

リハビリネットワーク通信 第25号

（平成31年2月発行）

発行元：
宮城県仙台保健福祉事務所
健康づくり支援班
022-363-5503（直通）

Qにお答えします

Q. 訪問に行った際、どういったことに気を付け、また、本人や家族との関係性をどのように工夫されていますか。御教授ください。（富谷複合型サービス事業所あおい）

- A. ・御家族様の介護の方法を尊重し、必要以上にこちらの方法を押し付けないようにしています。
- ・いくらベストだと思っても、看護師の意見を押しつけないように気を付けています、完璧を求めないようにしています。
 - ・御家族様の体調や介護状況などをうかがいながら、不安等の表出ができるように努めています。
 - ・御家族が気を使わずに話せるような話題で和ませながら、会話を進めています。
 - ・明るく笑顔で対応しています。相手に合わせ方言で会話をするなど工夫をしています。

バトンでつなごう

一問一答 ～紹介リレー～



次回：大郷訪問看護ステーション
さんへバトンタッチ

●質問コーナー●

Q. 今まで訪問した中で、心に残ったシーンを教えてください。

リハビリ川柳

「リハビリを毎日続けて 転倒予防」（看護師）

【解説】看護師と一緒の時はリハビリを行ってくださるが、なかなか継続してくれない場合もあり、継続してもらえように関わっていきたい、という思いから。

「『車いす 自分で乗れた』と 笑顔伝わる」（看護師）

【解説】退院し半年ほど自宅で過ごした後、少しずつリハビリを頑張りできるようになった時。笑顔で報告してくれて、その笑顔は何人にも伝わっていきな...と。

「筋肉痛 運動不足が 身に染みる」（看護師）

【解説】利用者さんと一緒にリハビリを行うと、自分自身が筋肉痛となり日頃の運動不足を反省している句。